

今後の予定（再検討）と辻原のこれまでの研究の全体像

1. 講義の予定（再検討の結果）

（1）辻原の研究から

04月09日（水）	第1回目	ガイダンス
04月16日（水）	第2回目	辻原のこれまでの研究の全体像
04月23日（水）	第3回目	「ものさし」の話、その一部の「想像温度による「住みこなし」の診断」について
04月30日（水）		休校日のため講義なし
05月07日（水）	第4回目	「建築環境工学」から「建築環境学」へー建築環境工学の新しい研究手法を考えられないかー
05月14日（水）	第5回目	新しい分野の領域史での新しい研究の方法を考えられないか

【概要】辻原の研究を題材にどのように考えて研究を進めるか、どのように考えて進めてきたのか、を紹介する。

【準備】特に必要はない。

【視点】

第3回目：これまでの様々な研究から何か一つの視点からのお話がつくれないか。その一部の想像温度の研究では常に「図」をいかに描くかを考えてきたので、それを紹介。

第4回目：従来の体系に疑問を持って試行錯誤して結局は上手くいかなかったことを紹介。どうしてうまく行かなかったのかまでは、追求できていないが。

第5回目：「ものさし」のもう一つの領域史の分野でなんとか新しい手法を見つけだそうと取り組んだ過程を紹介。

※履修者が確定する04月23日以降は、居住環境学専攻の会議室での実施も可能。

（2）これまでの取り組みを用いた発表内容の図式化のトレーニング

05月21日（水）	第6回目	取り組み内容の発表と図式化（その1）
05月28日（水）	第7回目	取り組み内容の発表と図式化（その2）
06月04日（水）	第8回目	取り組み内容の発表と図式化（その3）
06月11日（水）	第9回目	取り組み内容の発表と図式化（その4）
06月18日（水）	第10回目	取り組み内容の発表と図式化（その5）

【概要】 これまでに取り組んだ卒業設計もしくは卒業論文について発表してもらった後、その内容を各自がペンで紙の上に図式化する。その後、完成した図を皆で見せ合い、どのように図式化すればよいか、どのような図が内容を的確に表すことができるか、などについて討論を行う。

【視点】 話の内容を「図」にすることを旨とする。修士論文の執筆の際には、逆に図を書いてから文書を書けるようになることを目標とする。

【準備】 卒業設計もしくは卒業論文の最終発表会などのスライドを用いて発表する。発表時間は自由だが、10分から20分程度か。新たにスライドを作成するところまでは特に求めないが、設計した作品そのものよりも、できるだけその前段階の「考え方」を話すようにして欲しい（スライドは同じでも、話し方を変える）。自分の発表をより理解してもらいやすくするための素材を準備することについては、全く問題はない。

※図式化にあたっては下方と次ページの2.を参照。

（3）教科書を用いたバイオクライマティックデザインに関する学修

06月25日（水）	第11回目	エネルギーの有効利用	パッシブとアクティブ（その1）
07月02日（水）	第12回目	エネルギーの有効利用	パッシブとアクティブ（その2）
07月09日（水）	第13回目	エネルギーの有効利用	パッシブとアクティブ（その3）
07月16日（水）	第14回目	エネルギーの有効利用	パッシブとアクティブ（その4）
07月23日（水）	第15回目	エネルギーの有効利用	パッシブとアクティブ（その5）

【概要】 『設計のための建築環境学 第2版 みつめる・つくるバイオクライマティックデザイン』の第2章の11項目を分担して、1人2項目ないし3項目ずつ、その内容を発表する。その後、発表の内容に関して皆で討論しながら、理解深める。また、できるだけ第1章と第3章のうち、関連する部分も含めて発表する。

【視点】 数式的な扱いよりも、計画的な扱い、計画に繋がるような視点からできるだけ学修を進める。

【準備】 発表はスライドを用いる。配付資料も各自で受講生の人数分＋教員の分を準備する。

2. 図式化について

この講義で考える、論文の内容や説明のための図式化については、例えば、以下のような文献を参照。

ただし、図式化はあくまで手段であることに注意。自分の考えを明快にまとめることこそが重

要。図式化の方法を勉強したいのではない点に注意。

主にビジネスシーンでの図解

- [1]『なんでも図解 絵心ゼロでもできる! 爆速アウトプット術』(日高由美子, ダイヤモンド社, 2020年9月, 1,600円+税, ISBN: 978-4-478-11024-9) [和書(2F), 336.55||H 54, 0000390811]
- [2]『ビジュアル思考大全 問題解決のアイデアが湧き出る37の技法』(三澤直加, 翔泳社, 2021年2月, 2,000円+税, ISBN: 978-4-7981-6507-3) [和書(2F), 141.5||Mi 51, 0000390311]
- [3]『武器としての図で考える習慣 「抽象化思考」のレッスン』(平井孝志, 東洋経済新報社, 2020年7月, 1,600円+税, ISBN: 978-4-492-04668-5) [和書(2F), 336.2||H 64, 0000394566]

グラフィックレコーディング

- [4]『描いて場をつくる グラフィック・レコーディング 2人から100人までの対話実践』(有廣悠乃, 学芸出版社, 2021年7月, 2,600円+税, ISBN: 978-4-7615-2776-1) [和書(3F), 809.6||A 71, 0000394481]
- [5]『はじめてのグラフィックレコーディング 考えを図にする, 会議を絵にする。』(久保田麻美, 翔泳社, 2020年8月, 2,000円+税, ISBN: 978-4-7981-6488-5) [和書(3F), 809.6||Ku 14, 0000394560]

もしくは, 以下のようなサイトを参照。「」内の語句をキーワードとして検索すればサイトに
行き着くことができる。

- ・「コンセプトマップ」, 「マインドマップ」, 「概念図」, 「システム開発地図」などのキーワードで
検索できるサイト (特定のサイトというわけではなく, 様々なサイトあり。)
- ・「えがこう!」→動画もあり
<https://egakou.com>
- ・「ダイヤモンド・オンライン」内で「日高由美子」で検索
<https://diamond.jp/ud/authors/5f505fb4776561133b010000>
- ・「東洋経済 ONLINE」内の「平井孝志」
<https://toyokeizai.net/list/author/平井+孝志>